事例No.	2461
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	まちづくり学校双海人

事例区分	地域活性化

タグ	・地域運営組織 ・移住定住 ・関係人口

事例種類	移住・定住促進

事例内容・タイトル

ふるさとを愛し、たのしく学び、みんなが幸せになる～地域の担い手を育て、移住者も一緒に幸せづくり～

出典

平成30年度優良事例表彰一覧

全国過疎地域自立促進連盟 会長賞

まちづくり学校双海人（がっこうふたみんちゅ）

ふるさとを愛し、たのしく学び、みんなが幸せになる
～地域の担い手を育て、移住者も一緒に幸せづくり～



高校生から 80 歳を超える高齢者までが楽しく学ぶ「まちづくり学校双海人」。活動を通して移住者も加わり、ふるさと双海を元気にしていきます。

●●事例の概要●●



特産品として開発をした「よもくれ団子」。地域のイベントにも積極的に参加。

伊予市双海地区は、松山市から約 20km の距離にあり、南予の玄関口に位置している。

平成 17 年の市町村合併後、伊予市の周辺地域となった双海地区には閉塞感が漂っており、こうした状況を打開するための地域の担い手の育成が急務であった。このため平成 24 年に、誰でも参加できる地域活性化の学び舎「まちづくり学校双海人」を発足させ、住民自らが楽しく活動することで、自分たちが暮らす地域が少しでも良くなることを実感しながら、「できる時に、できる人が、できることを」行うことをモットーとして活動している。

住民らにより結成されたまちづくり学校双海人の毎月の定例会では、様々なテーマの下、高校生から 80 歳を越える高齢者が意識を共有する学びの場となっている。特に興味関心の高い福祉・商品開発・イベント・移住については、クラブ活動として継続的に活動している。また、外部からの参加も自由とし、無理のない活動を許容する団体の寛容さが、移住者が地域に根付きやすい気運の醸成に寄与している。

●●評価のポイント●●

伊予市双海地区は、風光明媚な瀬戸内海に面しており、旧双海町時代に「しずむ夕日が立ちどまる町」で名を馳せた。今も予讃線の下灘駅ホームには多くの人が訪れている。

伊予市は、合併後に集落を小学校区ごとにまとめる地域組織の再編成を進めようと、平成 22 年に各地区に集落座談会を発足させたが、その際双海地区には、その推進サポート役として地域おこし協力隊員が配属された。集落組織の再編が進まない中、23 年度に着地型観光プロジェクトを提案して終了した「四国サイコーダイガク」双海プロジェクトで学んだ人と協力隊員が中心になって、継続的な学びの場として双海地区の活性化グループをつくる動きが生まれ、翌年高校生も含めて 80 人ほどが集まり、「まちづくり学校双海人（ふたみんちゅ）」が誕生した。

協力隊員は教頭となり、元気な女性が校夢員、男性が用夢員として定例会が毎月行われ、クラブ活動での特産品開発では「よもくれ団子」を販売、コミュニティビジネスでは下灘珈琲の出店を実現した。毎月最終土曜日の軽トラ市もグループワークから生まれたものである。クラブ活動の一つである移住プロジェクトは平成 24 年に発足し、これも双海人の用夢員である協力隊 OB が中心に活動している。見学ツアーや交流会も実施して、築 86 年の素晴らしい木造校舎を持つ翠（みどり）小学校の児童を増やすことに成功した。移住者のうち３家族の子ども８人のうち７人が翠小学校に通い、平成 25 年に 15 人だった児童数は、いま校区外通学を含め 22 人となっている。その後市は移住サポートセンター「いよりん」を中心部に置き、まちづくり学校双海人の教頭がここのスタッフとなっている。

毎夏の夕焼けビールトロッコ列車の貸切り運行や、合併 10 周年を記念して行われた公募による市民映画製作などの大掛かりなイベントも、まちづくり学校双海人が中心に実施してきた。会員の中には起業した人も複数いて、参加する中で地元で生きる意欲が高まっていく双海人という集まりの価値を明確に示している。

「双海で何かしたい人の（私的な）集まり」が、地域おこし協力隊を活用して６年間にこれだけの成果を上げていることは極めて貴重であり、高く評価できる。



毎月の定例会では、必ず意見交換できるワークショップを開催。たくさんのアイディアが出され、できることから実践しています。



子育て世代をターゲットにした移住ツアー。参加した子どもたちもみかん採りに夢中。この中のご家族が実際に移住し、新たにパン屋を起業しました。



ワークショップのアイディア出しから始まった「しずむ夕日が立ちどまる町の軽トラ市」。軽トラの荷台からのお菓子まきには、お客さんも大盛り上がり。

DATE　愛媛県 伊予市（いよし）

団体名▶まちづくり学校双海人
所在地▶〒799-3292　愛媛県伊予市双海町上灘甲5821-6（伊予市双海地域事務所内）
連絡先▶TEL：089-986-1111　FAX：089-986-1224
E-mail：futamintyu@gmail.com
URL:https://www.facebook.com/Futaminchu/
【交通のご案内】
自動車▶松山自動車道　松山ＩＣから約20分
鉄　道▶JR予讃線で松山駅から伊予市駅まで約20分
伊予鉄道郡中線で松山市駅から郡中駅まで約25分
飛行機▶松山空港から車で約30分



▶国勢調査人口（単位：人）

市町村名	昭和35年	昭和55年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
伊予市	49,106	42,842	40,505	39,493	38,017	36,827

▶人口増減率（単位：%）

市町村名	H27/S35	H27/S55	H27/H12	H27/H17	H27/H22
伊予市	-25.0	-14.0	-9.1	-6.8	-3.1

▶高齢者・若年者比率（H27 年）（単位：%）

市町村名	高齢者比率	若年者比率
伊予市	31.4	12.5